

講習の名称	【選択】英語教育のための異文化理解
講習の概要	英語コミュニケーションの基礎となる、異文化理解・異文化コミュニケーションについて学びます。国によって文化が違えば、考え方や価値観が異なります。仮に英語をある程度話すことができたとしても、価値観の違いを踏まえた上で発言しないと、かえって言葉が出来るがゆえに、大きな誤解を招いてしまうことがあります。それを防ぐためには、異文化理解が必要となります。異文化理解の理論を学び、具体例として、映画・文学・ビジネスでの場面などを題材として取り上げます。
担当講師	金子 淳（地域教育文化学部担当准教授）
講習開設日	平成 30 年 8 月 3 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県山形市
会場・教室	基盤教育 2 号館 2 階 221 教室
対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭、中学校・高等学校教諭（英語）
受講予定人数	40 人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	持ち物：ノート、筆記用具、英語辞書、スマートフォン又はインターネット使用可能なノートパソコンを持参すること 教科書：特にありません。当日、プリント等を配布いたします。 異文化理解を普段の授業にどのようにいかしていくかということについて、問題意識を持って参加して下さい。
評価基準	合格基準 ・全ての時間に出席していること。 ・筆記試験でそれぞれの担当教員の試験の得点が 60 点以上であること。
評価の観点	・講義の内容を理解しているかどうか。 ・普段の英語の授業に講義内容をどのように生かせるか明瞭に語れる（記述できる）こと。
その他特記事項	